

第13回 TOUR de 熊野 事業評価委員会 議事録

日時 平成23年6月6日(月)午後7時より午後9時まで

場所 新宮市浮島1-25 キナンビル 4F 会議室

出席者

評価委員：瀬戸 元(熊野市実行委) 小池 秀之(実行委) 横田 勝之(実行委)

柚洞 伸行(実行委) 松本 哲也(新宮市議会議員)

事務局 楠本秀一・内野寛子・濱田佳尚

座長に委員の互選により、松本委員を選出。

座長： JKA補助金の実績報告として自己評価をする旨について、委員の意思統一をする為、事務局に補助金の目的、事業内容について再確認の説明をお願いします。

事務局： 事前計画について説明。合わせて、今回の第13回 TOUR de 熊野の実績(参加選手、宿泊者数、推進体制、来訪マスコミ数等)について報告する。また、事務局の叩き台としての評価原案を説明する。

座長： 事務局の評価原案について意見を求める。

全委員： 基本的に、原案を了とするする。

座長： 原案を基本に、各委員の、今回の補助事業実施に関しての感想、意見を加味して、最終の自己評価としたいが如何か？

全委員： 異議なし。

座長： それでは、各委員から、今回の TOUR de 熊野の大会実施に関して、感じたこと、気のついたことについて、意見ををお願いします。

柚洞委員： 東日本大震災後、大会を実施すると決断したこと。これは、英断であり、非常によかったと思う。

瀬戸委員： 和歌山県、三重県の両県知事はじめ、地元市町村長や議員が、予定通り、大会役員に就任していただけて良かった。

横田委員： 国際レースの選手の中には、ジロ・デ・イタリアで入賞したこともある、すごい選手も参戦しており、また、実力通りの走りで大そう強く、国内の選手への相当な刺激になったと思う。ただ、そういう世界的な選手が出場している事を、上手に広報できなかった部分もあり、残念であった。事前の広報があれば、観衆も、マスコミももっと盛り上がったと思う。

小池委員： 4日間、雨で、しかも台風2号が接近し警報が出るなど、気象条件は最悪であったが、ボランティアの方々が、一生懸命、大会の成功に向けて協力していただいたことは、この TOUR de 熊野を是非、成功させねばならぬという、地域の方が強く思っていただけの、無くてはならぬイベントとして成長してきた証しであると思う。

柚洞委員： 震災の影響で、レースの中止が続いていて、本格的なレースとしての初戦の意味合いもあり、実業団選手も多くエントリーされ、また、マスコミ関係も多く来訪してくれ、注目度の高い大会になったと、感じる。報道関係者から「少ないスタッフで効率よく運営されている」との言葉をもらい感激した。

小池委員： NHK がドキュメントとして、市民が応援する TOUR de 熊野として取り上げてくれ、近く放映されることは、TOUR de 熊野の評価を高めると共に、世界遺産の地での自転車レースとして注目を受け、当地の知名度アップにもつながるのではと期待する。また、BS-TBS 銀輪の風も熱心に 4 日間取材していた。6 月 13 日（月）pm11:30~12:00 に放映予定と聞く。TOUR de 熊野の認知度及び当地の知名度のアップの貢献に繋がると、これも期待したい。

瀬戸委員： 4 日間、雨天は厳しかった。転倒事故もあったが、大けがになる選手もなく、よかった。また、最終日の太地ステージでは警報が出る中、ボランティアや役場職員の方が、大会成功の為、協力していただいて、本当によかった。警報が出ると役場は保安要員を配置しなければならないが、それをしながらレース終了まで、協力体制を敷いていただいた町長に、感謝申し上げたい。

横田委員： 参加選手や宿泊者数も予想以上であり、当地への経済的効果や交流人口の増と言う、目的が達せられたことは大きい。TOUR de 熊野の影響を感じる。ただ、雨天という気象条件の中、日曜日の観戦者が、少なく、4 日間通じて目標の 1 万人の観客動員は残念ながら、達成出来なかった。ただ、初戦のタイムトライアル会場には、保育所の園児や市民の方が、そして、観衆目当てに、食べ物屋の宣伝活動が行われていて、ほんの少しであるが、自転車を楽しむ雰囲気が出て来て、自転車文化と言うと大げさであるが、欧米の自転車レースのような、楽しみ方が、生まれつつあると感じた。

また、新宮市と熊野市における国際レースのパレードには、雨天にもかかわらず、多数の市民が沿道で見送っていただき、年々、TOUR de 熊野と自転車レースへの関心が高まってきつつあると感じる。

柚洞委員： JKA 補助金による実施した事業としての広報関係では、計画通り、チラシ、ポスター、パンフレット他、地元新聞広告に掲載したが、開会式の看板や表彰式のスポンサーパネルにも掲載しており、新聞報道で紹介されたり雑誌やテレビでも紹介されることになっている。競輪マークを市民がより意識してくれるきっかけになればと思う。結構、福祉関係のバス等に競輪マークが付いているのを、最近目にする事が多く、自分も意識するようになっていく。

NHK のドキュメントや BS-TBS 銀輪の風で放映される中で、競輪マークが照会される場面が出ると思うので、局側の了解を得て、JKA に資料提供してはどうか？

事務局： 局側の、了解を得て、そのようにしたい。また、大事な補助金をいただいている、JKA との連携を今後は密にしたいと考える。

今回、JKA の広報担当の方が、日本競輪選手会の常任理事の西野選手と来訪され事務局が、JKA の機関紙、KEIRIN magazine に掲載するインタビューを受けた。

横田委員： HP と広報について、少し課題があると感じた。ジロ・デ・イタリアで 3 回も入賞したことがあるダンジェロ&アンティヌッティニッポウコーポレーション（以下ニッポウ）所属の選手の紹介（野球でいえば大リーガー、サッカーで言えばメッシ選手に匹敵する凄い選手）が TOUR de 熊野に参戦する旨の、事前の広報ができず、折角の話題性を生かすことができなかった。また、リアルタイムで実況中継したインターネット中継も、少し、アクセス数が少ないように思われる。これも事前の広報をもう少し、力を入れておけばとおもう。尤も、自転車というマイナーな競技であるから、やむを得ない点もあるかもしれないが、中継を行

った「くりらじ」との連携からの、広報も考えられるのではと思う。

座長： 委員各位から熱心な意見を頂戴した。意見を反映して事務局にまとめていただき、自己評価書として提出していただくことに異議は無いか（全員異議無しの声）。

それでは、各項目ごとの採点を協議願う。（順に採点を行う。）

座長： 熱心に協議いただいた。事務局にはご苦労様ですが、本日の委員各位の意見をまとめて頂き、JKAに提出していただくようお願いする。

座長、議事録署名の委員として、横田勝之、柚洞伸行さんを指名し、会議の散会を宣言し終了する。

平成 23 年 6 月 6 日

第 13 回 TOUR de 熊野 事業評価委員会

座長

松本 哲也

議事録署名人

横田 勝之

議事録署名人

柚洞 伸行

この議事録は原本に相違ない事を証明する。

平成 23 年 6 月 8 日

特定非営利活動法人 SPORTS PRODUCE 熊野

理事長 角口 賀敏